

科目・教育内容

科目名	家族社会学	
単 位	1 単位：30 時間	
開講期	1 年次 4 月	
講師名	非常勤講師	
目 標	1. 社会の構造や特徴を学び、自己と他者との関わりを理解する。 2. 人々の行為と社会の関係性について考える視座を得る。 3. 家族という集団について学び、その変容と現状について理解する。 4. 批判的な視座を養い、社会の多様性について理解を深める。	
授業内容・予定		授業形態
1 回目	「社会」とは？ -社会学を学ぶために-	講義
2 回目	行為と役割	講義
3 回目	集団と家族	講義
4 回目	メディアとコミュニケーション	講義
5 回目	ジェンダーとセクシュアリティ	講義
6 回目	宗教と社会	講義
7 回目	労働と社会	講義
8 回目	都市とコミュニティ	講義
9 回目	貧困と格差	講義
10 回目	文化と社会	講義
11 回目	家族とライフコース	講義
12 回目	グローバル化と多文化社会	講義
13 回目	社会運動と社会	講義
14 回目	医療と自己決定	講義
15 回目	ケアと社会	講義
評価	筆記試験 (100 点)	
使用テキスト	宇都宮京子編 「よくわかる社会学」 第2 版 ミネルヴァ書房	
参考文献	資料	

科目・教育内容

科目名	教育学	
単 位	1単位：30時間	
開講期	1年次10月	
講師名	非常勤講師	
目 標	教育の基本的な考え方と教育のあり方を理解する。	
授業内容・予定		授業形態
1回目	ガイダンス 「教育学」を学ぶ意義	講義
2回目	教育の定義 「Education」の語源について考える	講義
3回目	教育の歴史 人口動態と教育の歴史	講義
4回目	教育と社会 子ども像と教師像の変遷	講義
5回目	教育と社会 これからの社会と教育	講義
6回目	教育制度の目的 教育の目的	講義
7回目	教育制度のしくみ 教育制度の構造	講義
8回目	教育行政のしくみ 教育行政と教育政策	講義
9回目	学校の役割 養護教諭の仕事为例にしながら、学校の機能と役割について学ぶ	講義
10回目	学習指導 映画「こんばんは」前半の視聴を通じて、学ぶことの意義について生きることの 関わりから考える	講義
11回目	生活指導 映画「こんばんは」後半の視聴を通じて、他者との関わりが人間の育ちにとって もつ意味を考える	講義
12回目	院内学級 院内学級における教師の役割について学ぶ	講義
13回目	特別支援教育 特別支援教育の概要について理解し、その意義と方法について学ぶ	講義
14回目	予備日	講義
15回目	まとめ レポート発表	講義
評価	レポート（100点）	
使用テキスト	なし	
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	心理学	
単 位	1単位：30時間	
開講期	1年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	1. 人間の心の働きについて学び、自己と他者を理解する動機付けとする。 2. 人間の発達に関する特徴と変化を知る。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	授業説明 心理学とは何か 感覚の理解 感覚・知覚と心理 1) 感覚の理解	講義
2回目	知覚の理解 感覚・知覚と心理 2) 知覚の理解	講義
3回目	記憶の理解 記憶と心理 1) 記憶の働き	講義
4回目	記憶の理解 動機付けの理解 記憶と心理 2) 知識 3) 再生と再任 4) 忘却	講義
5回目	内発的動機 マズローの欲求階層説 動機付けのメカニズム 1) 動機付けのメカニズム 2) フラストレーションと適応	講義
6回目	葛藤 学習性絶望 思考と心理 1) 問題解決 2) 学習	講義
7回目	学習の理解 (古典的条件付け、オペラント条件づけ) 思考と心理 1) 問題解決 2) 学習	講義
8回目	オペラント条件付け 学習のまとめ 思考と心理 1) 問題解決 2) 学習	講義
9回目	学習に関するDVD鑑賞 発達 発達と心理 1) 発達とは	講義
10回目	発達の理解 発達と心理 1) 発達とは	講義

11回目	青年期の発達 一同一性について 発達と心理 2) 親子関係と子どもの発達	講義
12回目	個人・家族の発達と親子関係 発達と心理 3) 個人の発達段階と発達課題 4) 家族の発達段階と発達課題	講義
13回目	様々な発達理論、知能と知能検査 知能とは 1) 知能とは何か 2) 知能の測定と知能指数	講義
14回目	性格について 性格とは 1) 性格とは何か 2) 性格理論 3) 性格の決定要因	講義
15回目	カウンセリングについて	講義
評価	筆記試験 (100点)	
使用テキスト	メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 心理学	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	論理的思考	
単 位	1単位：15時間	
開講期	1年次10月	
講師名	非常勤講師	
目 標	1. 思考過程を明らかにする方法を理解する。 2. 論理的な意見交換の方法を理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	オリエンテーション	講義
2回目	ディベートについて	講義 演習
3回目	ディベートの実際①	演習
4回目	ディベートの実際②	演習
5回目	ディベートの実際③	演習
6回目	ディベートの実際④	演習
7回目	ディベートの実際⑤	演習
8回目	レポート（45分）	講義
評価	授業内（60点）レポート（40点）で評価（100点）	
使用テキスト	なし	
参考文献	講義内で適宜提示します。	
その他	テーマについて事前に自己学習する。ディベートの実際は40名で行う。 学生40名のうち半数はディベートし、半数は審判員として参加する。	

科目・教育内容

科目名	哲学	
単 位	1単位：15時間	
開講期	1年次10月	
講師名	非常勤講師	
目 標	<p>1. 哲学の課題である「よく生きる」ということについて、自分自身の生き方と照らし合わせつつ考え、理解する。</p> <p>2. 科学の方法と限界を正しく学んだ上で、哲学の意義を理解する。</p> <p>3. 「生死」「自由」「自己」「他者」等、哲学の主要概念についての基本的理解を習得した上で、「よく生きる」ことについて主体的に考える。</p>	
授業内容・予定		授業形態
1回目	哲学とは	講義
2回目	真理とは	講義
3回目	古代ギリシャ哲学の理論	講義
4回目	人間とは	講義
5回目	愛とは	講義
6回目	生と死	講義
7回目	哲学と宗教	講義
8回目	第7回までの補足と、質疑応答	講義
評価	筆記試験（100点）	
使用テキスト	特に使用せず、毎時資料を配布する。	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	人間関係論	
単 位	1単位：30時間	
開講期	1年次10月	
講師名	非常勤講師	
目 標	医療場面、学校・職場・家庭生活場面での交流やコミュニケーション、関係性のあり方を理解し、 広げ深めていく上で押さえておくべき視点と方法を理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	1. 人間関係論の成立：企業・経営の世界で 1) ホーソン研究から人間関係論へ	講義
2回目	2) 欲求階層論から見た人間関係論的管理	講義
3回目	2. 対象関係論から対人関係論へ：医学・医療の世界で 1) 精神分析と対象関係論 2) 看護者と患者の対人関係論	講義
4回目	3. 発達と対人関係 1) ライフサイクル論概観 2) ライフサイクル論と「重要な他者」	講義
5回目	3) 「重要な他者」からの承認と発達：乳児期と学齢期について 4) 仲間関係の発達	講義
6回目	4. 不適応と「斜めの関係」	講義
7回目	5. 自己理解・他者理解 1) 自己理解・他者理解の意味 2) 自他理解実習	講義・演習
8回目	6. コミュニケーションと「やりとり（交流）」 1) コミュニケーションの要素と水準 2) 交流分析	講義・演習
9回目	3) エゴグラム	講義・演習
9回目	7. 自他肯定のコミュニケーション：アサーション・トレーニング	演習
10回目	8. リーダーシップ 1) レヴィンからリーダーシップ二機能論へ 2) リーダーシップ状況論	講義
11回目	9. フォロワーシップとメンバーシップ 1) フォロワーシップ 2) メンバーシップ	講義
12回目	10. 集団意思決定 1) 集団の諸概念 2) 集団意思決定のグループダイナミックス	講義
13回目	11. グループワークと個人の変容・成長 1) レヴィンからの流れ：体験学習とTグループ 2) ロジャーズからの流れ：エンカウンターグループ	講義・演習

14回目	3) グループワークのエクササイズ実習	演習
15回目	総まとめ	講義
評価	*筆記試験(90点)、授業中の設問に対する応答(10点)	
使用テキスト	なし	
参考文献	資料	
その他		



科目・教育内容

科目名	情報科学	
単 位	1単位：30時間	
開講期	3年次 4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	1. 情報科学の基礎、コンピュータに関する知識・方法について理解を深め、情報処理の基本的な考え方を理解する。 2. 情報の取り扱いに関わる倫理について理解する。 3. 統計学の基本的な考え方と、統計処理の方法を理解する。 4. 看護研究への活用の方法を理解する。	
授業内容・予定		授業形態
1回目	医療情報学の概要	講義
2回目	コンピュータの概要 エクセルを用いた演習	講義
3回目	コンピュータの概要 エクセルを用いた演習	講義
4回目	文章入力演習	講義
5回目	プレゼンテーション演習	講義
6回目	看護情報とシステム	講義
7回目	医療情報システム・チーム医療とクリニカルパス	講義
8回目	情報の取り扱いと守秘義務・診療情報等の開示	講義
9回目	情報倫理・個人情報の保護と管理	講義
10回目	情報の活用	講義
11回目	統計処理・記述統計	講義
12回目	統計処理・推測統計	講義
13回目	統計処理・2群の差の検定	講義
14回目	多重比較検討	講義
15回目	相関関係、回帰分析	講義
評価	筆記試験（90分） レポート課題	
使用テキスト	4steps エクセル統計第4版 オーエムエス出版	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	生活科学	
単 位	1単位：15時間	
開講期	1年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	<p>1. 人間を生活者と捉え、健康で快適な生活を送るために必要な衣・食・住等に関する生活行動や、生活環境を科学的に学ぶ。</p> <p>2. 生活と環境倫理について理解する。</p>	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	<p>生活とは 生活設計他 生活とは何か（生活の構成要素を含む） 現代の家庭生活</p> <p>1) 社会背景     (1) 高齢少子化社会     (2) 生活意欲・価値観</p> <p>2) 生活の変容     (1) 生活時間     (2) 家庭経済     (3) 生活設計</p>	講義
2回目	<p>環境と適応 温熱環境 健康的な生活環境と生活行動</p> <p>1) 環境とからだ 2) 温度と健康 3) 気候と健康</p>	講義
3回目	<p>照明環境 騒音環境と健康</p>	講義
4回目	<p>化学的環境と健康</p>	講義
5回目	<p>住居と健康 健康的な生活環境と生活行動</p> <p>4) 住居と健康</p>	講義
6回目	<p>衣服と健康 健康的な生活環境と生活行動</p> <p>5) 衣服と健康</p>	講義
7回目	<p>生物学的環境と健康 健康的な生活行動 生活と環境倫理</p>	講義
8回目	<p>授業の総括</p>	講義
評価	筆記試験（100点）	
使用テキスト	なし	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	英語 I	
単 位	1 単位：30 時間	
開講期	1 年次9月	
講師名	非常勤講師（外国人講師）	
目 標	臨床場面における日常英会話を身に付ける。	
	授業内容・予定	授業形態
1 回目	UNIT 1 Meeting Patients（患者登録と生活習慣アンケートをする）	講義
2 回目	UNIT 2 Taking a Medical History（病歴および健康状態を把握する）	講義
3 回目	UNIT 3 Assessing Patients' Symptoms（病状や症状をアセスメントする）	講義
4 回目	UNIT 4 Taking Vital Signs（バイタルサインを確認する）	講義
5 回目	UNIT 5 Taking a Specimen（検体を採取する）	講義
6 回目	UNIT 6 Conducting Medical Examinations（検査の注意や指示をする）	講義
7 回目	Body Parts: Internal/External（体の部位：外部・内部）	講義
8 回目	UNIT 7 Assessing Pain（疾病・負傷による痛みをアセスメントする）	講義
9 回目	UNIT 8 Advising about Medication（処方された投薬についてアドバイスする）	講義
10 回目	UNIT 9 Improving Patients' Mobility（体の機能回復を介助・援助する）	講義
11 回目	Coffee Break 3: Appointments/Essay 3: Organic Food（病院の予約・オーガニック食品）	講義
12 回目	UNIT 10 Maintaining a Good Diet（栄養と食餌についてアドバイスする）	講義
13 回目	UNIT 11 Caring for Patients（入院患者のケアする）	講義
14 回目	UNIT 12 Coping with Emergencies（救急事態に対処する）	講義
15 回目	Review（復習）	講義
評価	筆記試験（100点）	
使用テキスト	センゲージ ラーニング株式会社：Caring for People	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	英語Ⅱ	
単 位	1単位：30時間	
開講期	2年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	1. 英文読解のために必要な語彙、英文法、解釈の基礎を理解する 2. 医療英語を通して1年次で学んだ医療及び看護用語と関連づけることができる 3. 諸外国の看護ケアに関する書籍や文献を通して、看護ケアの本質を理解する 4. 400～800words程度の英文記事を読むことができる	
授業内容・予定		授業形態
1回目	ガイダンス、医療英語	講義
2回目	医療英語	講義
3回目	医療英語	講義
4回目	医療英語 essay	講義
5回目	医療英語 essay	講義
6回目	Search topics	講義
7回目	Make a presentation	講義
8回目	発表	講義
9回目	発表	講義
10回目	essay	講義
11回目	医療英語	講義
12回目	医療英語	講義
13回目	医療英語	講義
14回目	医療英語	講義
15回目	医療英語	講義
評価	レポート 他	
使用テキスト		
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	分子生物学	
単 位	1単位：30時間	
開講期	1年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	遺伝子とその周辺の生命現象を分子レベルで理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	生物の特徴と細胞の性質 1. 生物の特徴と細胞の性質	講義
2回目	分子と生命活動 2. 分子の生命活動	講義
3回目	DNAのはたらき 3. DNAのはたらき	講義
4回目	DNAのはたらき 3. DNAのはたらき	講義
5回目	DNAのはたらき 3. DNAのはたらき	講義
6回目	RNAのはたらき 4. RNAのはたらき	講義
7回目	翻訳 5. 翻訳	講義
8回目	翻訳 5. 翻訳	講義
9回目	癌 6. 癌	講義
10回目	癌 6. 癌	講義
11回目	免疫 7. 免疫	講義
12回目	免疫 7. 免疫	講義
13回目	発生と分化 8. 発生と分化	講義
14回目	医療にかかわるバイオ技術 9. 医療にかかわるバイオ技術	講義
15回目	医療にかかわるバイオ技術 9. 医療にかかわるバイオ技術	講義
評価	筆記試験（100点）	
使用テキスト	コア講義分子生物学 裳華房 わかりやすい生化学 ヌーベルヒロカワ	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	物理学	
単 位	1 単位：1 5 時間	
開講期	1 年次 4 月	
講師名	非常勤講師	
目 標	看護技術に関連する科学の物理学的基礎を学ぶ。	
	授業内容・予定	授業形態
1 回目	1. 質点の力学 (体位変換の原理を学ぶ)	講義
2 回目	1. 質点の力学 (続き)	講義
3 回目	2. 剛体の力学 (倒れない条件、倒れにくい条件)	講義
4 回目	3. 流体 (水中で感じる体重について)	講義
5 回目	4. 圧力 (圧力と看護の関係)	講義
6 回目	5. 音に関する現象 (音と医療の関係)	講義
7 回目	6. 光に関する現象 (医療現場での光)	講義
8 回目	7. 放射線の防護と応用 (毒にも薬にもなる放射線)	講義
評価	筆記試験 (100 点)	
使用テキスト	メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 物理学	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	保健体育		
単 位	1単位：30時間		
開講期	3年次4月		
講師名	非常勤講師		
目 標	1. 体力を維持し、健全な心身の発達を図る。 2. 運動をとおして心身のリフレッシュ方法を学ぶ。		
授業内容・予定			授業形態
1回目	オリエンテーリング 健康と運動について	Aero実技	講義
2回目	脊柱・骨盤 ニュートラルポジションについて	Aero実技	講義
3回目	脊柱・骨盤・肩・腰の回旋軽減	Aero実技	講義
4回目	脊椎の動き・骨盤の動き	Aero実技	講義
5回目	股関節・肩関節の動き	Aero実技	講義
6回目	動きやすい体づくりのためのストレッチエクササイズ	Aero実技	講義
7回目 8回目	運動の効果	Aero実技 グループ発表	講義
9回目	体育実技オリエンテーション（目標・内容・方法）		講義
10回目	ネット型スポーツの基本的技能		講義
11回目	アンダーハンドストローク		講義
12回目	サービス変遷 シングルス		講義
13回目	サムアップ リストスタンド オーバーヘッドストローク		講義
14回目	スマッシュ ダブルス 卓球ドライブ		講義
15回目 16回目	ダブルス		講義
評価	実技試験（90分）		
使用テキスト			
参考文献			
その他			